

# 日本情報考古学会

## 第32回大会

### in NARA

日本情報考古学会第32回大会を下記の要領で開催いたします。現代の考古学とそれを取り巻く諸分野において、データベースの構築と活用の推進は、ますます重要になっています。そこで、大会テーマは「考古学とデータベース」とし特別講演2件を行います。一般講演でも関連する発表のほか、幅広く情報考古学に関する発表があります。  
前回の大会に引き続き、意義ある大会となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

# 考古学とデータベース

大会テーマ

# 2014.3.29土 - 30日

## 会場：帝塚山大学 東生駒キャンパス 6号館 6112 教室

### 1日目 29日(土)

- 12:30 - 開場・受付
- 13:00 - 13:10 開会式
- 13:10 - 14:50 一般講演
- 14:50 - 15:00 休憩
- 15:00 - 16:00 特別講演1
- 16:00 - 16:10 休憩
- 16:10 - 17:30 一般講演
- 18:00 - 懇親会

12:30 - 開場・受付

開会式 13:00 - 13:10 大会実行委員長 横見博之

一般講演 13:10 - 14:50

- 研究発表 1 データベースで考古学  
13:10 - 13:30 岡安光彦 (株式会社四門 文化財事業部)
- 研究発表 2 古墳の立体地図情報の築造規格研究への適用について  
13:30 - 13:50 西村 淳 (函館大学)
- 研究発表 3 貝塚時代前IV期における南西諸島と南九州間のインタラクション—縄文的イデオロギーの転換・維持・変容—  
13:50 - 14:10 平良理輝 (鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 4 2台の力覚提示装置の協調動作に基づく遺物の仮想展示システムの検討  
14:10 - 14:30 赤間勇也 (岩手大学)、松山克胤 (同)、田中隆充 (同)、今野晃市 (同)
- 研究発表 5 “模倣”に関する考古学的一試論—より具体的な解釈の方法をめざして—  
14:30 - 14:50 平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)

—休憩— 14:50 - 15:00

### 1日目

特別講演 1 15:00 - 16:00

貝塚データベース—作成から利用まで—  
総合研究大学院大学 及川昭文 先生  
—休憩— 16:00-16:10

一般講演 16:10 - 17:30

- 研究発表 6 開ヶ丘遺跡群出土土師器の蛍光X線分析  
16:10 - 16:30 三辻利一 (鹿児島国際大学)、古川知明 (富山県教育委員会)、小黒智久 (同)
- 研究発表 7 土器形態における低視覚的属性の検討—製作者の態度に関する認知考古学的視点— (第2報)  
16:30 - 16:50 黒木梨絵 (公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)
- 研究発表 8 多数の遺物を一括測定可能なレーザー型自動計測システム  
16:50 - 17:10 村木祐太 (大阪工業大学)、アルタンツェツェク・エンフバヤル (岩手大学)、千葉 史 (株式会社ラング)、松山克胤 (岩手大学)、今野晃市 (同)
- 研究発表 9 電磁気的手法による前田利長墓所の研究  
17:10 - 17:30 泉 吉紀 (富山大学大学院理工学研究部)、菅頭明日香 (同)、酒井英男 (同)、岸田 徹 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)、田上和彦 (高岡市教育委員会)、廣瀬勇也 (同)

懇親会 18:00 - ※当日受け付けます。ふるってご参加ください。

### 2日目 30日(日)

- 10:00 - 11:20 一般講演
- 11:20 - 12:00 特別講演 2
- 12:00 - 13:00 休憩
- 13:00 - 13:40 ポスターセッション
- 13:40 - 14:40 一般講演
- 14:40 - 14:50 閉会式

一般講演 10:00 - 11:20

- 研究発表 10 新潟県における古地層の考古学からの研究アプローチ  
10:00 - 10:20 加藤 学 (財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団)、酒井英男 (富山大学大学院理工学研究部)、中野貴元 (国土地理院)
- 研究発表 11 ヒトの運動習慣 (モーター・ハビット) 生成のメカニズム—過去における土器製作者・社会・文化の考古学的理解に向けて—  
10:20 - 10:40 平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 12 磁化から探る考古遺物の熟履歴  
10:40 - 11:00 酒井英男 (富山大学大学院理工学研究部)、泉 吉紀 (同)
- 研究発表 13 北タイにおける土器製作者身体技法の記録と解析 (続報)—モーションキャプチャの使用とその意義—  
11:00 - 11:20 川富田好見 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)

特別講演 2 11:20 - 12:00

考古学データベースの緩やかな連繫に向けて  
京都工芸繊維大学教授 宝珍輝尚 先生

—休憩— 12:00-13:00

ポスターセッション 13:00 - 13:40 6号館

- 研究発表 17 土器の粘土帯はいかにして作られるか?—北タイの伝統的土器製作村における土器製作過程の三次元形状記録と観察—  
中野 聡 (鹿児島国際大学)、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)、太郎良真妃 (同)、白井菜実 (鹿児島国際大学)
- 研究発表 18 青森県内出土の縄文土器にみられる K-Rb、Ca-Sr の相関性  
三辻利一 (鹿児島国際大学)、太郎良真妃 (鹿児島国際大学大学院)、平川ひろみ (同)、楊 帆 (同)

### 2日目

ポスターセッション解説 13:00 - 13:40

一般講演 13:40 - 14:40

- 研究発表 14 北部九州弥生時代中期 “遠賀川以東系” の跳ね上げ口縁甕の再検討—様式・型式・製作者のハビトゥスをめぐる諸問題—  
13:40 - 14:00 太郎良真妃 (鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 15 鹿児島県大崎町麦田下遺跡出土土師器の蛍光X線分析—弥生時代後期初頭における高付式と西南四国系土器等の関係—  
14:00 - 14:20 中国 聡 (鹿児島国際大学)、内村憲和 (大崎町教育委員会)、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)、太郎良真妃 (同)
- 研究発表 16 磁化特性による信州の原産地黒曜石の研究  
14:20 - 14:40 菅頭明日香 (富山大学大学院理工学研究部)、酒井英男 (同)

閉会式 14:40 - 14:50 会長 植木 武

### <お問い合わせ>

〒891-0197 鹿児島市坂之上 8-34-1  
鹿児島国際大学中園聡研究室内  
日本情報考古学会第32回大会実行委員会  
E-mail: archaeoinfoiuk@gmail.com  
日本情報考古学会 URL: <http://www.archaeo-info.org/>



- 研究発表 19 土器形態における低視覚的属性とその検討方法—製作者の態度に関する認知考古学的研究の基礎として—  
黒木梨絵 (公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)、新屋敷久美子 (同)
- 研究発表 20 モンゴル・アウラガ遺跡における電磁気探査と焼土の磁化研究  
岸田 徹 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)、酒井英男 (富山大学大学院理工学研究部)